

# 平成25年度 一般・特別・上下水道事業会計 決算を認定

9月10日から開会した「第3回定例会」に、平成25年度各会計決算認定案が提出され、これを審査するために、議員全員で構成する「決算特別委員会」（山吹委員長、時光副委員長）を設置した。特別委員会では、2日間にわたり予算が適正に執行されたかどうかを調査・質疑等が行われ、慎重に審議した結果、全会一致で原案のとおり認定すべきものとの審査結果が示された。特別委員会終了後に再開した本会議では、全て原案のとおり認定した。

## ■ こんなことに使われました！

### 深原地区町有造成事業



**2億716万円** ・遊休町有地に有効面積1.7haの流通系産業団地を造成

### 社会体育施設管理事業



**8,171万円** ・町民体育館の屋根修繕、外壁防水工事、事務所増設等を実施

### 災害予防及び応急対策事業



**3,799万円** ・非常用備蓄食糧や応急資機材等の防災物資の備蓄を充実  
・防災備蓄倉庫を建設

### 次世代育成支援対策事業



**1,030万円** ・子ども・子育て支援事業計画策定のためのニーズ調査を実施  
・子育て支援センターの運営

## ■ 各会計の決算状況

区分	決算額		歳入歳出差引額	翌年度へ繰越すべき財源	実質収支額	
	歳入	歳出				
一般会計	77億6,101万円	75億7,428万円	1億8,673万円	1,549万円	1億7,124万円	
特別会計	国民健康保険事業	34億6,833万円	33億4,621万円	1億2,211万円	0円	1億2,211万円
	公共下水道事業	8億3,661万円	8億2,697万円	964万円	0円	964万円
	後期高齢者医療	5億2,840万円	5億2,043万円	797万円	0円	797万円
	介護保険	19億8,301万円	18億8,815万円	9,486万円	0円	9,486万円
	土地取得	22億1,109万円	22億1,109万円	0円	0円	0円
上下水道	収益的収支	4億8,389万円	4億6,200万円	2,189万円	0円	2,189万円
	資本的収支	7,070万円	8,127万円	△1,057万円	0円	△1,057万円
合計	173億4,303万円	169億1,040万円	4億3,263万円	1,549万円	4億1,714万円	

※表示単位未満は四捨五入のため差引額及び合計額が一致しない場合があります。

### 平成25年度決算に基づく健全化判断比率及び資金不足比率

「地方公共団体の財政の健全化に関する法律」に基づき、右記の指標について、いずれも「財政健全化団体」及び「財政再生団体」としての基準を下回っており、本町の財政状況は良好な状態であるという監査委員からの意見が、本会議に報告された。

- 健全化判断比率
  - ・実質赤字比率・連結実質赤字比率  
→共に赤字額がないため算定されない。
  - ・実質公債費比率 10.5%
  - ・将来負担比率 24.9%
- 資金不足比率
  - ・上下水道事業（法適用）・公共下水道事業（法非適用）  
→共に資金不足額がないため、算定されない。

## ■ 実施事業をくまなくチェック ～決算特別委員会での質疑の一部を紹介～

- 税金**
- Q. 町民法人税を1千万円減額補正した理由は。
- A. 平成24年度は「なでしこ効果」により筆産業の法人税割が上昇したが、平成25年度は、その効果が薄れたこと。また、法人税が5%減税された影響もあつたためである。
- Q. 今後の税収はどのように推移すると考えているのか。
- A. 将来的には、少子高齢化により、住民税は納付者が減少、固定資産税は需要が低下するので土地価格が下落し、税収は減少していくと考えられる。
- 筆の里工房**
- Q. 小学校の社会見学による入館者数の推移は。
- A. 年間4千から5千人で推移している。毎年4月には、県内小学校に社会見学案内を通して、見学者の増加に努めている。
- 生活保護**
- Q. 生活保護の人数と世帯数は。
- A. 平成26年6月末現在で、185人、134世帯である。
- 道路整備**
- Q. (国庫) 町道舗装修繕事業の実施箇所は。
- A. 皇帝ハイツ1号線、山王深原線、新宮南線、出来中溝線、城之堀線、昭和線、新萩線、団地2号線の8路線である。
- くまなく事業**
- Q. 「くまなく」の進捗状況は。
- A. 平成24年度から「くまなく事業」を始め、これまでの成果の発表と今後の発展を目指し、12月6日に、町民会館において「くまなくフォーラム」を開催する。内容は、県教育長の講演の他、学校、幼稚園などの事例発表等である。